

- 「理解しやすく、対外説明に利用しやすい」がコンセプト。
- 「機内誌」をイメージして読み飽きない内容に。
- 日本の魅力から各種政策まで、幅広い情報をカバー。
- 政府公式英文ウェブサイト「JapanGov」内に広報誌ページを設置。
- 電子書籍としてウェブ上での提供（e-book形式の閲覧とPDFでのダウンロードが可能）が中心。
- 印刷物も準備し首脳会談や総理、閣僚の出張時に海外で配布するなどして展開中。
- 年6回程度、英語で発行。
- Webアクセス数（直近12か月平均）：約25万件
- 一層の拡散を目指して、Amazon Kindleストアで世界7か国に配信（2014年7月配信開始）。



【令和3年度予算案：79百万円の内数（79百万円の内数）】

- 月刊の英字電子雑誌。
- 外国人一般層に向けて、我が国に対する正しい理解と親近感の醸成を図るため、政府の重要施策、日本の文化や社会等について紹介することを目的に発行。
- 政府広報オンライン英語版に掲載（毎月発行）。
- 政府の成長戦略、各府省からの広報希望等を踏まえて、毎月の特集テーマを設定。テーマに関する政府の重要政策、各府省の個別の施策を、各府省の担当者・有識者へのインタビューや、個別の取材記事等により多角的に掘り下げて紹介。
- Webアクセス件数（31年度（令和元年度）月平均）：6.5万件
- オンラインの掲載のほか、印刷物を都道府県立図書館、国内の大学等に配布。



9月：日本の布



10月：日本の色



11月：日本人とお米



12月：日本の豊かな地域文化



1月：日本の器

クールジャパン戦略推進経費（知的財産戦略推進事務局）

3年度概算案額 0.6億円
（令和2年度予算額 0.8億円）

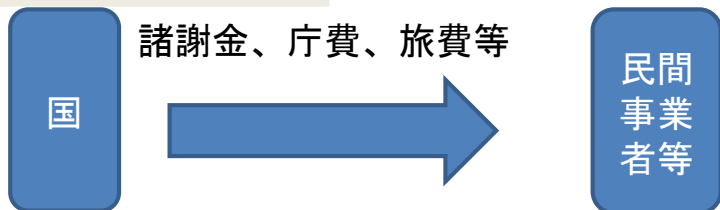
事業概要・目的

- クールジャパン戦略とは、外国人が良いと思う日本の魅力を学び、発見し、磨き上げ、発信することにより、持続的に世界の共感を得ることを目指す取組です。
- 「クールジャパン官民連携プラットフォーム」（官民・異業種連携の促進を目的とした協議会）において、異業種連携による新たなビジネス組成の促進や、連携に向けた啓発・機運醸成に取り組めます。
- 「成長戦略フォローアップ」では、クールジャパン戦略の推進が盛り込まれています。

事業イメージ・具体例

- 新たなクールジャパン戦略の推進に関する調査＜要望＞
「知的財産推進計画2020」及び「クールジャパン戦略」（令和元年9月策定）を踏まえ、地域別分野横断的嗜好調査、クールジャパンの発信・展開に関する実証調査（新たなクールジャパン資源の発掘、AI等を活用した効果的な発信方法の実証調査）及びCJ戦略の効果測定に資する調査等を実施します。
- クールジャパンの戦略の推進に関する会議の運営
 - クールジャパンセミナー等の開催
異業種連携等を促進するため、マッチングイベントを開催するとともに、地方を含め、連携プロジェクトの組成に向けた意識醸成を図るため、クールジャパンセミナーや地方版クールジャパン推進会議等を開催します。

資金の流れ



期待される効果

- クールジャパンの発信・展開や人材育成・拠点構築等の基盤整備を含む、官民一体でのクールジャパン戦略の効果的な推進により、インバウンド・アウトバウンドの活性化やクールジャパン関連産業の活性化を後押しし、我が国の経済成長につながることを期待されます。